

2024年1月 戸田市景気動向に関するアンケート調査結果

1 目的

市内の景況に関し、現状や見通しなどの調査を行うことで、業種別の市内景気の動向を迅速に把握するほか、取り組むべき経営課題について実態を把握し、今後どのような支援策が必要かどうか、経済施策立案のための基礎資料とすることを目的とする。

2 調査期間

2024年1月15日(月)～1月31日(水)

3 調査対象

市内事業者700社

4 調査方法

WEB調査
(対象者にアンケート回答用のQRコードが記載された文書を郵送し、WEBで回答)

5 回答状況

有効回答数 196 社
回答率 28.0% %

市内中小企業の景況感

市内中小企業の景況感は、前期に比べ改善傾向が見られたが、見通しについては、厳しい状況である。生産高・売上高は改善したが、仕入価格は高いままとなっており、利益は依然厳しい状況である。

特別調査

- ・現状の経営課題について
- ・雇用について
- ・事業承継について

DI(景気動向指数: Diffusion Index)とは

増加(好転)と回答した企業割合から減少(悪化)と回答した企業割合を差し引いた指数で、企業の景況判断等の強弱感の判断に使用する指数のことである。

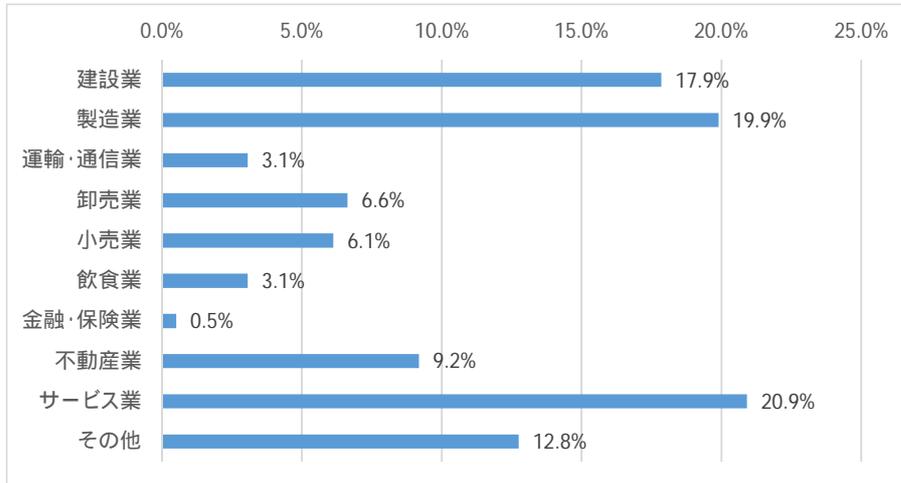
<例> 「増加」50% 「変わらず」20% 「減少」30%
 $DI = 50\% - 30\% = 20$

本調査における構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

調査の基本項目

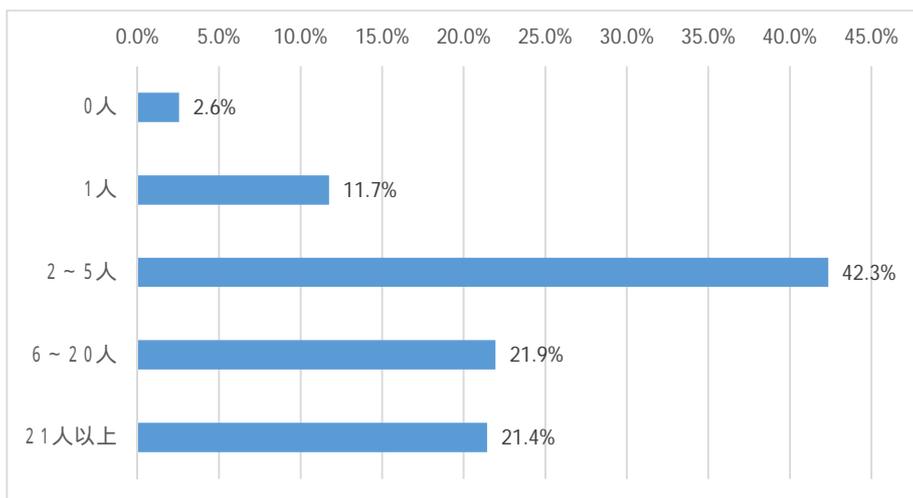
1 事業所の業種

前回に比べ、回答率が下がっており、業種分類は、「サービス業」が20.9%、「製造業」が19.9%、「建設業」が17.9%となっている。以下、「その他」、「不動産業」、「卸売業」、「小売業」、「運輸・通信業」、「飲食業」、「金融・保険業」の順となっている。今回の調査では「金融・保険業」は回答数が少なかったため「その他」に含めている。



2 従業員数

従業員数の分布は、「2～5人」が42.3%と一番多く、「6～20人」が21.9%、「21人以上」が21.4%となっている。「1人」、「0人」と回答したのは全体の約14.3%である。本調査では小規模の事業所の回答が中心となっている。



1 戸市内の景況や貴事業所の動向について

Q1 景況や貴事業所の動向の「実績見込み」と「見通し」について

戸市内の景況や貴事業所の動向に関する以下の10項目について、それぞれ該当するものを選択

・実績見込み: 令和5年度下期は、令和5年度上期と比べていかがか。

・見通し: 令和6年度上期は、現在の実績と比べてどうなると思うか。

なお、業種によっては回答する必要のない項目があるため、その場合は未記入

10項目

(1) 景況感 (2) 生産高・売上高 (3) 経常利益 (4) 雇人員

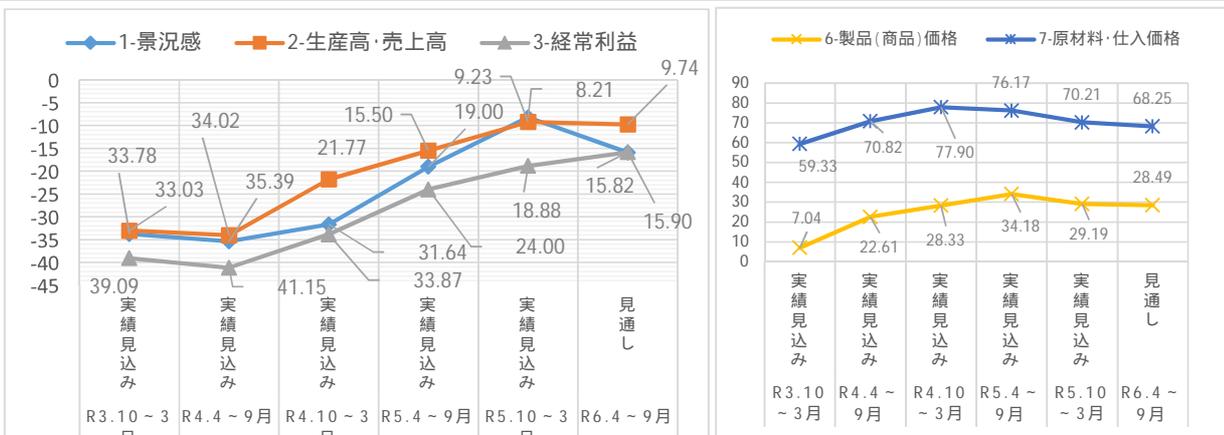
(5) 労働時間 (6) 製品(商品)価格 (7) 原材料・仕入価格

(8) 製品(商品)在庫 (9) 資金繰り (10) 設備投資

上記の質問について、DIを算出し、グラフを作成

[全体の概要]

「景況感DI」は-8.21であり、前期から10.79ポイント増加し、改善傾向であるが、見通しについては7.69ポイント減少の-15.90と悪化傾向である。「生産高・売上高DI」は-9.23であり、前期から6.27ポイント増加し、上昇傾向であるが、見通しについては0.51ポイント減少の-9.74と下降傾向である。「経常利益DI」は-18.88であり、前期から5.12ポイント増加し、上昇傾向であり、見通しについても3.06ポイント増加の-15.82と上昇傾向である。「製品(商品)価格DI」は29.19であり、前期から4.99ポイント減少し、下降傾向であり、見通しについても0.69ポイント減少の28.49と下降傾向である。「原材料・仕入価格DI」は70.21であり、前期から5.95ポイント減少し、下降傾向であり、見通しについても1.96ポイント減少の68.25と下降傾向である。

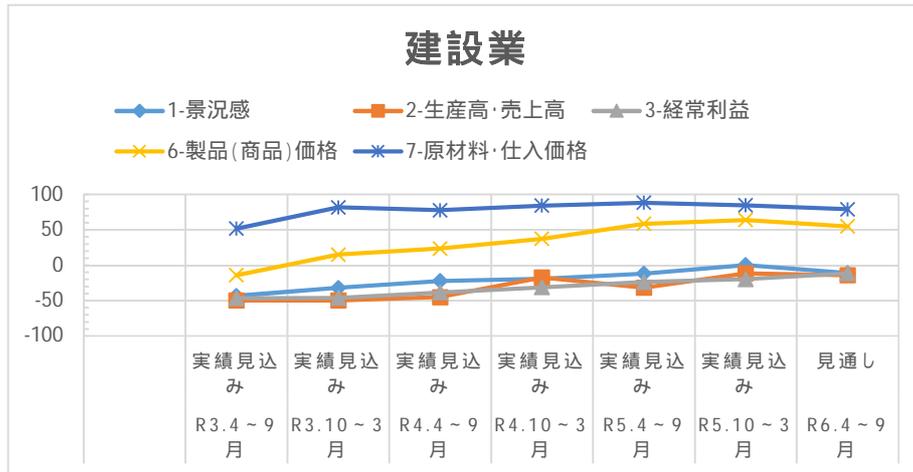


質問項目(DI)	R3.4~9月	R3.10~3月	R4.4~9月	R4.10~3月	R5.4~9月	R5.10~3月	R6.4~9月
	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	見通し
1-景況感	45.50	33.78	35.39	31.64	19.00	8.21	15.90
2-生産高・売上高	40.86	33.03	34.02	21.77	15.50	9.23	9.74
3-経常利益	41.80	39.09	41.15	33.87	24.00	18.88	15.82
4-雇人員	15.96	25.45	19.50	28.69	30.30	32.65	35.20
5-労働時間	19.35	10.91	11.11	5.09	7.04	4.08	6.15
6-製品(商品)価格	7.30	7.04	22.61	28.33	34.18	29.19	28.49
7-原材料・仕入価格	42.44	59.33	70.82	77.90	76.17	70.21	68.25
8-製品(商品)在庫	9.25	3.43	7.14	2.05	1.59	10.75	6.99
9-資金繰り	25.81	21.72	25.51	24.59	11.56	7.14	8.16
10-設備投資	7.10	0.47	7.98	6.52	0.51	4.12	2.59

業種別の動向について

〔建設業の概要〕

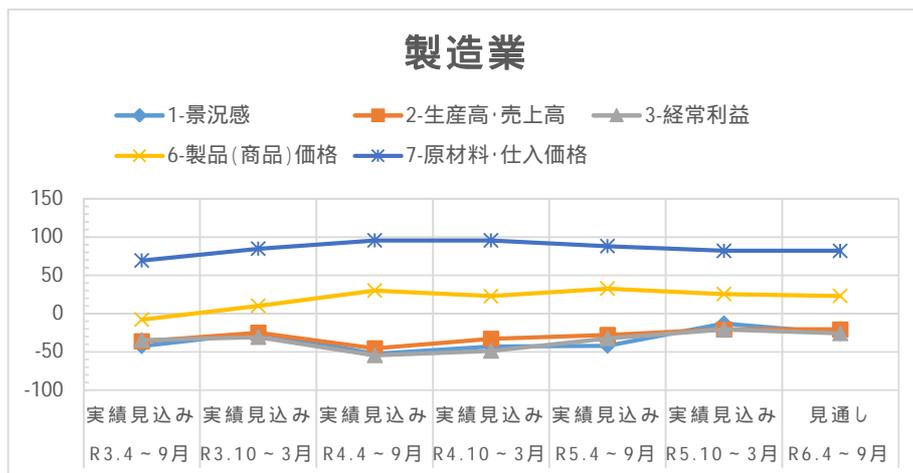
「景況感DI」は0.00であり、前期から12.00ポイント増加し、改善傾向であるが、見通しについては11.43ポイント減少の-11.43と悪化傾向である。「生産高・売上高DI」は-11.43であり、前期から20.57ポイント増加し、上昇傾向であるが、見通しについては2.86ポイント減少の-14.29と下降傾向である。「経常利益DI」は-20.00であり、前期から4.00ポイント増加し、上昇傾向であり、見通しについても8.57ポイント増加の-11.43と上昇傾向である。「製品(商品)価格DI」は63.64であり、前期から5.30ポイント増加し、上昇傾向であるが、見通しについては9.09ポイント減少の54.55と下降傾向である。「原材料・仕入価格DI」は84.38であり、前期から3.63ポイント減少し、下降傾向であり、見通しについても5.59ポイント減少の78.79と下降傾向である。



質問項目 (DI)	R3.4~9月	R3.10~3月	R4.4~9月	R4.10~3月	R5.4~9月	R5.10~3月	R6.4~9月
	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	見通し
1-景況感	43.33	32.14	22.58	19.30	12.00	0.00	11.43
2-生産高・売上高	50.00	50.00	45.16	17.54	32.00	11.43	14.29
3-経常利益	46.67	46.43	38.71	31.58	24.00	20.00	11.43
4-雇用人員	33.33	46.43	33.33	50.88	64.00	54.29	57.14
5-労働時間	33.33	17.86	9.68	1.75	4.00	11.43	5.88
6-製品(商品)価格	14.29	14.81	23.33	37.04	58.33	63.64	54.55
7-原材料・仕入価格	51.72	81.48	77.42	83.93	88.00	84.38	78.79
8-製品(商品)在庫	6.90	0.00	17.86	7.84	8.70	9.68	6.25
9-資金繰り	33.33	21.43	12.90	26.32	12.00	5.71	2.86
10-設備投資	16.67	14.29	12.90	12.50	12.00	5.71	8.57

〔製造業の概要〕

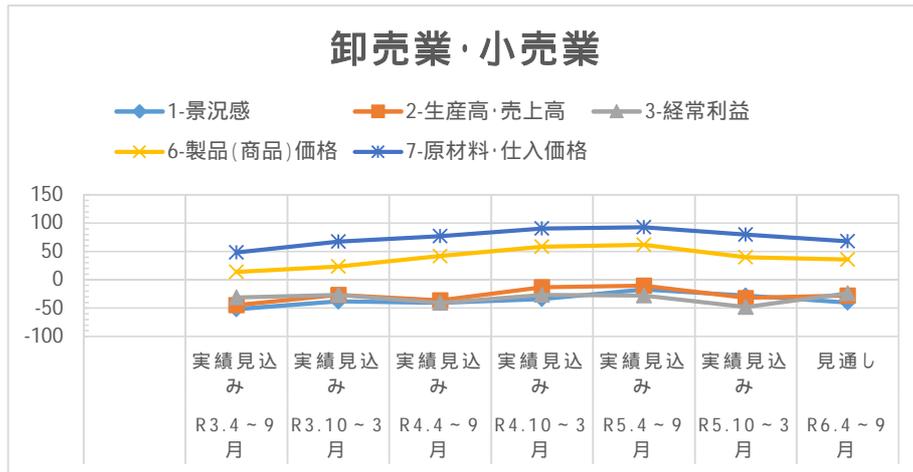
「景況感DI」は-12.82であり、前期から29.04ポイント増加し、改善傾向であるが、見通しについては12.82ポイント減少の-25.64と悪化傾向である。「生産高・売上高DI」は-20.51であり、前期から7.39ポイント増加し、上昇傾向であるが、見通しについては横ばい傾向である。「経常利益DI」は-20.51であり、前期から12.05ポイント増加し、上昇傾向であるが、見通しについては5.13ポイント減少の-25.64と下降傾向である。「製品(商品)価格DI」は25.64であり、前期から6.92ポイント減少し、下降傾向であり、見通しについても2.56ポイント減少の23.08と下降傾向である。「原材料・仕入価格DI」は82.05であり、前期から6.04ポイント減少し、下降傾向であるが、見通しについては横ばい傾向である。



質問項目 (DI)	R3.4~9月	R3.10~3月	R4.4~9月	R4.10~3月	R5.4~9月	R5.10~3月	R6.4~9月
	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	見通し
1-景況感	42.31	25.00	52.27	42.86	41.86	12.82	25.64
2-生産高・売上高	36.00	25.00	45.45	32.86	27.91	20.51	20.51
3-経常利益	34.62	30.77	54.55	48.57	32.56	20.51	25.64
4-雇入人員	15.38	30.00	20.45	25.71	20.93	43.59	48.72
5-労働時間	19.23	15.00	25.00	17.14	28.57	12.82	7.69
6-製品(商品)価格	7.69	10.00	30.23	22.86	32.56	25.64	23.08
7-原材料・仕入価格	69.23	84.62	95.45	95.71	88.10	82.05	82.05
8-製品(商品)在庫	4.00	10.53	18.60	7.25	4.76	23.68	24.32
9-資金繰り	15.38	22.50	34.09	33.82	11.63	5.13	12.82
10-設備投資	15.38	5.00	11.36	2.86	11.63	7.69	7.69

〔卸売業・小売業の概要〕

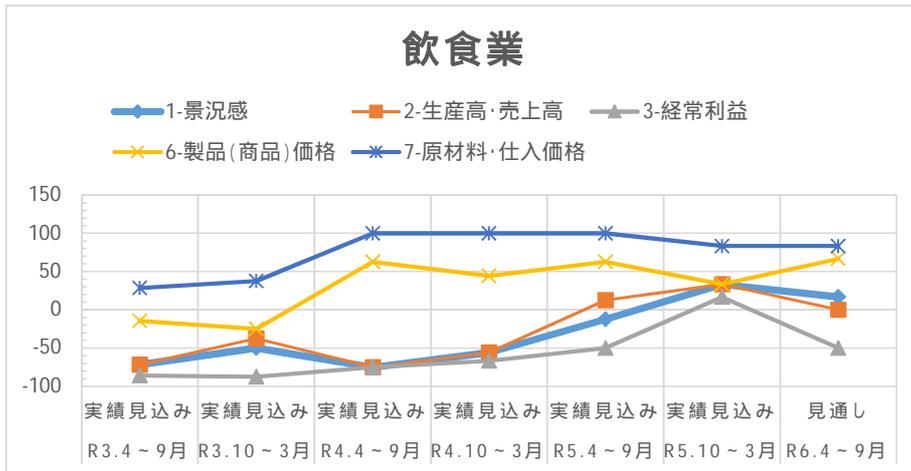
「景況感DI」は-28.00であり、前期から10.76ポイント減少し、悪化傾向であり、見通しについても12.00ポイント減少の-40.00と悪化傾向である。「生産高・売上高DI」は-32.00であり、前期から21.66ポイント減少し、下降傾向であるが、見通しについては4.00ポイント増加の-28.00と上昇傾向である。「経常利益DI」は-48.00であり、前期から20.41ポイント減少し、下降傾向であるが、見通しについては24.00ポイント増加の-24.00と上昇傾向である。「製品(商品)価格DI」は40.00であり、前期から22.07ポイント減少し、下降傾向であり、見通しについても4.00ポイント減少の36.00と下降傾向である。「原材料・仕入価格DI」は80.00であり、前期から13.10ポイント減少し、下降傾向であり、見通しについても12.00ポイント減少の68.00と下降傾向である。



質問項目 (DI)	R3.4~9月	R3.10~3月	R4.4~9月	R4.10~3月	R5.4~9月	R5.10~3月	R6.4~9月
	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	見通し
1-景況感	51.72	38.24	40.91	33.96	17.24	28.00	40.00
2-生産高・売上高	44.83	26.47	36.36	13.21	10.34	32.00	28.00
3-経常利益	31.03	26.47	40.91	26.42	27.59	48.00	24.00
4-雇用人員	24.14	14.71	20.45	15.09	20.69	28.00	24.00
5-労働時間	21.43	5.88	4.55	7.55	0.00	20.00	28.00
6-製品(商品)価格	13.79	23.53	41.86	58.49	62.07	40.00	36.00
7-原材料・仕入価格	48.28	67.65	77.27	90.38	93.10	80.00	68.00
8-製品(商品)在庫	6.90	17.65	2.27	5.66	17.24	8.00	0.00
9-資金繰り	20.69	20.59	27.27	24.53	24.14	8.00	4.00
10-設備投資	3.57	8.82	2.27	0.00	13.79	4.00	4.00

〔飲食業の概要〕

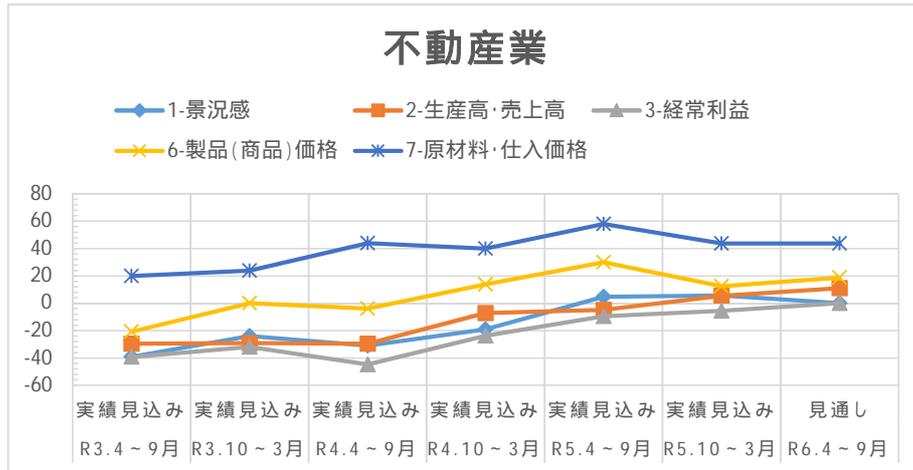
「景況感DI」は33.33であり、前期から45.83ポイント増加し、改善傾向であるが、見通しについては16.67ポイント減少の16.67と悪化傾向である。「生産高・売上高DI」は33.33であり、前期から20.83ポイント増加し、上昇傾向であるが、見通しについては33.33ポイント減少の0.00と下降傾向である。「経常利益DI」は16.67であり、前期から66.67ポイント増加し、上昇傾向であるが、見通しについては66.67ポイント減少の-50.00と下降傾向である。「製品(商品)価格DI」は33.33であり、前期から29.17ポイント減少し、下降傾向であるが、見通しについては33.33ポイント増加の66.67と上昇傾向である。「原材料・仕入価格DI」は83.33であり、前期から16.67ポイント減少し、下降傾向であるが、見通しについては横ばい傾向である。



質問項目 (DI)	R3.4~9月	R3.10~3月	R4.4~9月	R4.10~3月	R5.4~9月	R5.10~3月	R6.4~9月
	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	見通し
1-景況感	71.43	50.00	75.00	55.56	12.50	33.33	16.67
2-生産高・売上高	71.43	37.50	75.00	55.56	12.50	33.33	0.00
3-経常利益	85.71	87.50	75.00	66.67	50.00	16.67	50.00
4-雇用人員	14.29	25.00	50.00	66.67	50.00	16.67	66.67
5-労働時間	57.14	25.00	62.50	44.44	0.00	0.00	16.67
6-製品(商品)価格	14.29	25.00	62.50	44.44	62.50	33.33	66.67
7-原材料・仕入価格	28.57	37.50	100.00	100.00	100.00	83.33	83.33
8-製品(商品)在庫	57.14	25.00	12.50	11.11	12.50	16.67	16.67
9-資金繰り	14.29	0.00	37.50	33.33	12.50	33.33	0.00
10-設備投資	14.29	12.50	0.00	33.33	12.50	16.67	83.33

〔不動産業の概要〕

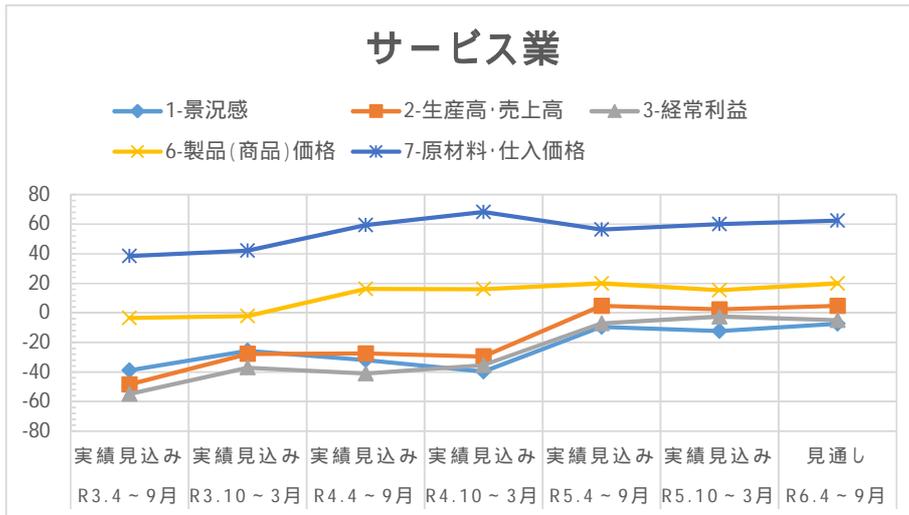
「景況感DI」は5.56であり、前期から0.79ポイント増加し、改善傾向であるが、見通しについては5.56ポイント減少の0.00と悪化傾向である。「生産高・売上高DI」は5.56であり、前期から10.32ポイント増加し、上昇傾向であり、見通しについても5.56ポイント増加の11.11と上昇傾向である。「経常利益DI」は-5.56であり、前期から3.97ポイント増加し、上昇傾向であり、見通しについても5.56ポイント増加の0.00と上昇傾向である。「製品(商品)価格DI」は12.50であり、前期から17.50ポイント減少し、下降傾向であるが、見通しについては6.25ポイント増加の18.75と上昇傾向である。「原材料・仕入価格DI」は43.75であり、前期から14.14ポイント減少し、下降傾向であるが、見通しについては横ばい傾向である。



質問項目 (DI)	R3.4~9月	R3.10~3月	R4.4~9月	R4.10~3月	R5.4~9月	R5.10~3月	R6.4~9月
	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	見通し
1-景況感	39.29	24.00	31.03	19.05	4.76	5.56	0.00
2-生産高・売上高	29.63	29.17	29.63	7.14	4.76	5.56	11.11
3-経常利益	39.29	32.00	44.83	23.81	9.52	5.56	0.00
4-雇人員	18.52	0.00	3.57	7.14	10.00	16.67	16.67
5-労働時間	3.70	8.33	0.00	4.76	9.52	5.56	22.22
6-製品(商品)価格	20.83	0.00	4.00	13.89	30.00	12.50	18.75
7-原材料・仕入価格	20.00	23.81	44.00	40.00	57.89	43.75	43.75
8-製品(商品)在庫	4.17	9.52	8.00	2.94	10.53	0.00	6.25
9-資金繰り	25.93	24.00	24.14	9.52	4.76	0.00	5.56
10-設備投資	11.11	17.39	14.81	17.50	0.00	17.65	0.00

【サービス業の概要】

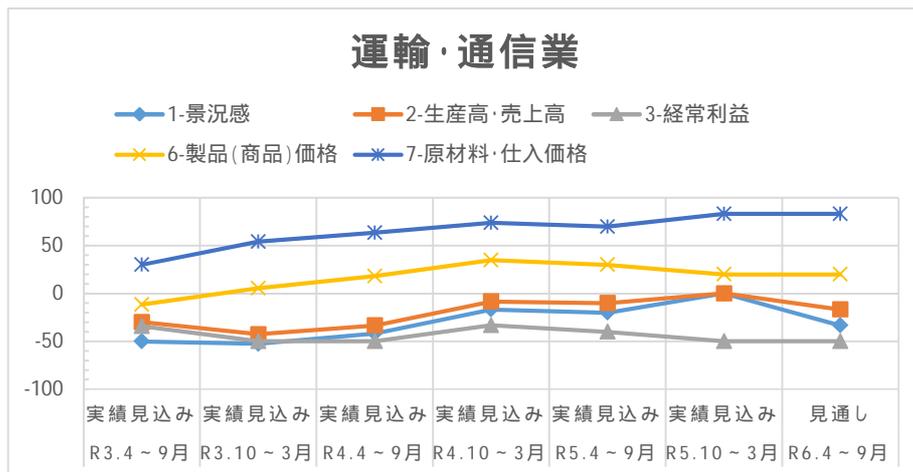
「景況感DI」は-12.20であり、前期から2.67ポイント減少し、悪化傾向であるが、見通しについては4.88ポイント増加の-7.32と改善傾向である。「生産高・売上高DI」は2.44であり、前期から2.32ポイント減少し、下降傾向であるが、見通しについては2.44ポイント増加の4.88と上昇傾向である。「経常利益DI」は-2.44であり、前期から4.70ポイント増加し、上昇傾向であるが、見通しについては2.44ポイント減少の-4.88と下降傾向である。「製品(商品)価格DI」は15.38であり、前期から4.62ポイント減少し、下降傾向であるが、見通しについては4.62ポイント増加の20.00と上昇傾向である。「原材料・仕入価格DI」は60.00であり、前期から3.59ポイント増加し、上昇傾向であり、見通しについても2.50ポイント増加の62.50と上昇傾向である。



質問項目(DI)	R3.4~9月	R3.10~3月	R4.4~9月	R4.10~3月	R5.4~9月	R5.10~3月	R6.4~9月
	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	見通し
1-景況感	38.71	25.53	31.82	39.71	9.52	12.20	7.32
2-生産高・売上高	48.39	27.66	27.27	29.41	4.76	2.44	4.88
3-経常利益	54.84	36.96	40.91	35.29	7.14	2.44	4.88
4-雇用人員	3.23	26.09	18.18	20.59	31.71	14.63	14.63
5-労働時間	12.90	8.51	9.09	1.47	2.38	9.76	12.20
6-製品(商品)価格	3.45	2.17	16.28	16.13	20.00	15.38	20.00
7-原材料・仕入価格	38.46	42.22	59.52	68.25	56.41	60.00	62.50
8-製品(商品)在庫	3.85	7.14	2.50	1.59	0.00	7.50	0.00
9-資金繰り	32.26	21.28	29.55	22.06	7.14	17.07	14.63
10-設備投資	13.79	0.00	11.90	8.96	9.76	19.51	12.20

〔運輸・通信業の概要〕

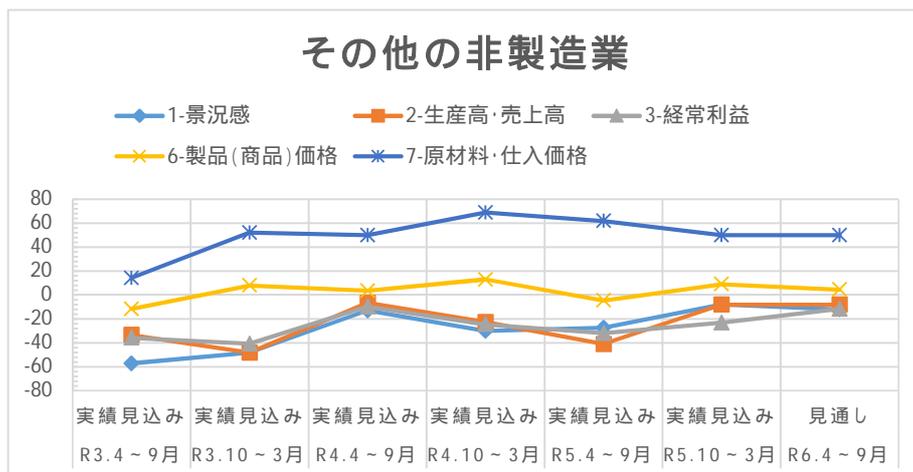
「景況感DI」は0.00であり、前期から20.00ポイント増加し、改善傾向であるが、見通しについては33.33ポイント減少の-33.33と悪化傾向である。「生産高・売上高DI」は0.00であり、前期から10.00ポイント増加し、上昇傾向であるが、見通しについては16.67ポイント減少の-16.67と下降傾向である。「経常利益DI」は-50.00であり、前期から10.00ポイント減少し、下降傾向であるが、見通しについては横ばい傾向である。「製品(商品)価格DI」は20.00であり、前期から10.00ポイント減少し、下降傾向であるが、見通しについては横ばい傾向である。「原材料・仕入価格DI」は83.33であり、前期から13.33ポイント増加し、上昇傾向であるが、見通しについては横ばい傾向である。



質問項目 (DI)	R3.4~9月	R3.10~3月	R4.4~9月	R4.10~3月	R5.4~9月	R5.10~3月	R6.4~9月
	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	見通し
1-景況感	50.00	52.50	41.67	16.67	20.00	0.00	33.33
2-生産高・売上高	29.73	42.50	33.33	8.33	10.00	0.00	16.67
3-経常利益	34.21	50.00	50.00	33.33	40.00	50.00	50.00
4-雇用人員	5.26	30.77	50.00	54.17	50.00	83.33	66.67
5-労働時間	21.62	17.95	25.00	4.17	30.00	0.00	33.33
6-製品(商品)価格	11.43	5.41	18.18	34.78	30.00	20.00	20.00
7-原材料・仕入価格	30.00	54.29	63.64	73.91	70.00	83.33	83.33
8-製品(商品)在庫	15.15	5.88	27.27	0.00	0.00	16.67	16.67
9-資金繰り	27.78	25.64	41.67	16.67	0.00	0.00	16.67
10-設備投資	2.78	13.51	8.33	8.33	0.00	16.67	16.67

【その他の非製造業(金融・保険業、その他)の概要】

「景況感DI」は-8.00であり、前期から19.27ポイント増加し、改善傾向であるが、見通しについては4.00ポイント減少の-12.00と悪化傾向である。「生産高・売上高DI」は-8.00であり、前期から32.91ポイント増加し、上昇傾向であるが、見通しについては横ばい傾向である。「経常利益DI」は-23.08であり、前期から8.74ポイント増加し、上昇傾向であり、見通しについても11.54ポイント増加の-11.54と上昇傾向である。「製品(商品)価格DI」は9.09であり、前期から13.64ポイント増加し、上昇傾向であるが、見通しについては4.55ポイント減少の4.55と下降傾向である。「原材料・仕入価格DI」は50.00であり、前期から11.90ポイント減少し、下降傾向であるが、見通しについては横ばい傾向である。



質問項目(DI)	R3.4~9月	R3.10~3月	R4.4~9月	R4.10~3月	R5.4~9月	R5.10~3月	R6.4~9月
	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	見通し
1-景況感	57.14	48.15	12.90	30.00	27.27	8.00	12.00
2-生産高・売上高	33.33	48.15	6.45	22.45	40.91	8.00	8.00
3-経常利益	35.71	40.74	9.68	24.49	31.82	23.08	11.54
4-雇用人員	0.00	15.38	6.45	32.00	22.73	23.08	26.92
5-労働時間	22.22	11.54	3.23	4.00	4.55	3.85	0.00
6-製品(商品)価格	11.54	8.00	3.70	13.04	4.55	9.09	4.55
7-原材料・仕入価格	14.29	52.17	50.00	68.89	61.90	50.00	50.00
8-製品(商品)在庫	16.67	13.04	4.00	4.88	5.00	4.17	4.17
9-資金繰り	38.46	26.92	9.68	28.57	14.29	11.54	11.54
10-設備投資	7.69	12.50	3.33	2.04	9.52	4.00	4.17

2. 貴社の現状の経営課題について

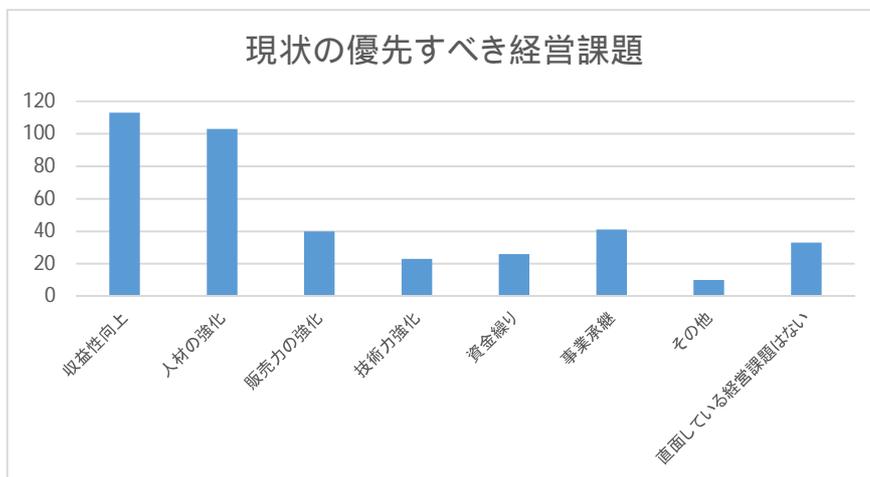
Q2-1 貴社の現状の経営課題(1番の優先課題)は？

Q2-2 貴社の現状の経営課題(次、2番目の優先課題)は？

現状の優先的に取り組むべき経営課題として多かったのは収益性向上が一番多く、次いで人材の強化、事業承継が挙げられた。

その他として以下の項目が挙げられた。

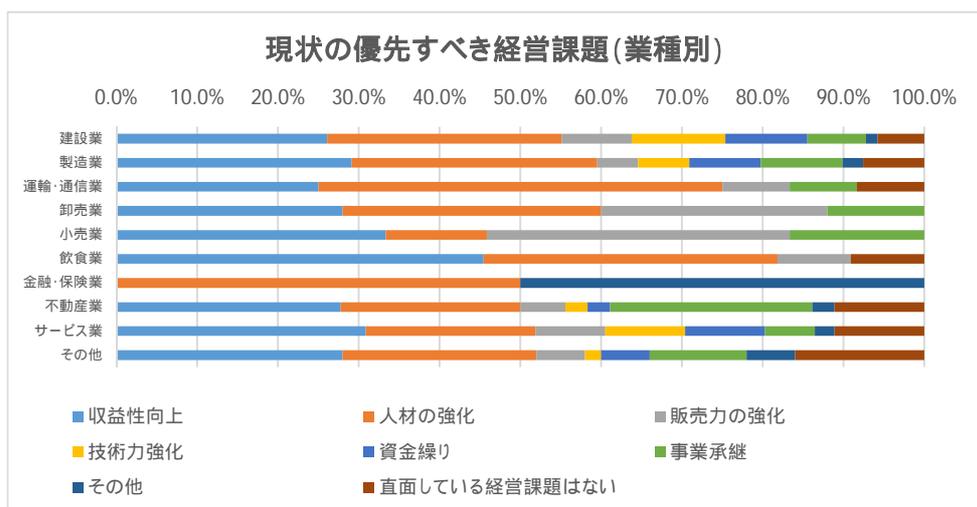
・今年8月末をもって閉店予定・お客様本位の業務運営への取り組み・職員のスキルアップ・コロナの為受診しない人が増えた。
 ・新規顧客開拓・外注先(個人事業主)の開拓・新たな業務に着手したい気はあるがもう少し資金繰りに余裕が出来ないと怖くて手が出せない。
 ・業務の効率化 特に対行政業務の省エネ化・特になし



業種別にみる現状の優先すべき経営課題

業種別に集計してみると以下の特徴が見られた。

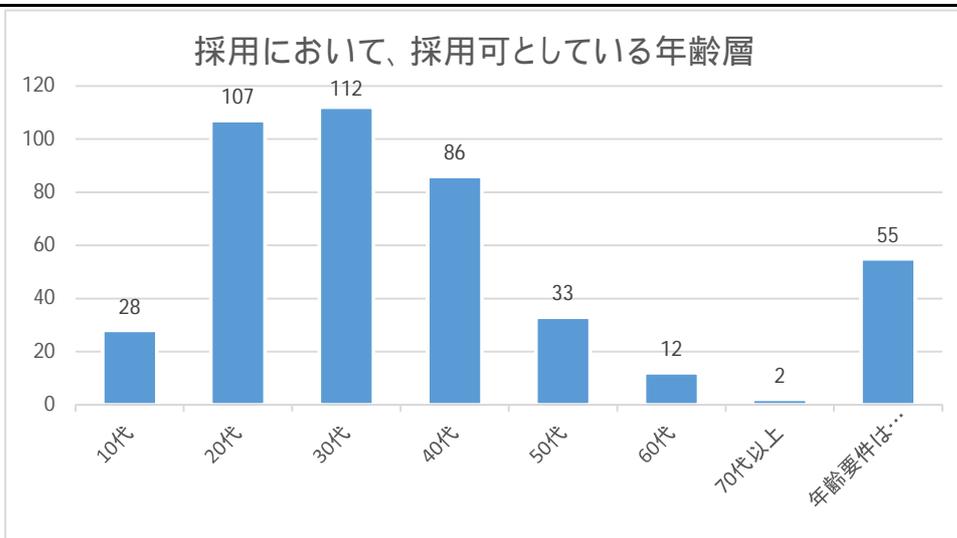
・飲食業、サービス業では、収益性向上が一番多く、次いで人材の強化が多かった。
 ・建設業、製造業、運輸・通信業では、人材の強化が一番多く、次いで収益性向上が多かった。
 ・卸売業では、人材の強化が一番多く、次いで収益性向上と販売力の強化が同率が多かった。
 ・小売業では、販売力の強化が一番多く、次いで収益性向上が多かった。
 ・金融・保険業では、人材の強化とその他が多かった。
 ・不動産業では、収益性向上が一番多く、次いで事業承継が多かった。



3. 雇用について

Q3-1採用(新卒・中途)において、貴社が採用可としている年齢層

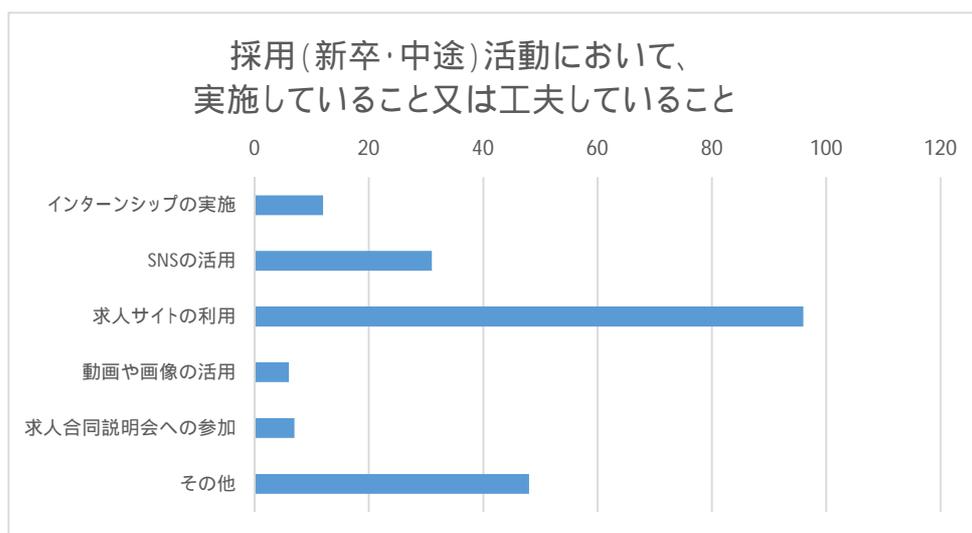
- ・20代から40代までは、ある程度採用可としている事業者が多いが、50代をすぎると採用可としている事業者が急激に少なくなっていることが見受けられる。
- ・一方、「10代」を採用可能としている事業者は、28社あった。
- ・年齢要件はないと答える事業者も55社あった。



複数選択可

Q3-2採用(新卒・中途)活動において、実施していること又は工夫していること

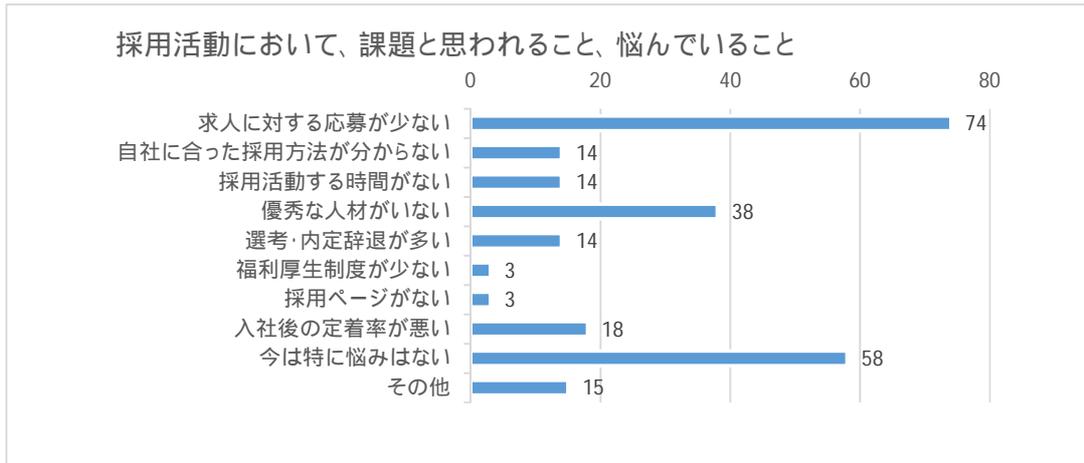
- ・採用活動において、実施していること又は工夫していることとして、一番多く挙げられたのは「求人サイトの利用」であった。
- ・次いで多かったのは「その他」、「SNSの活用」である。
- ・その他については、「社員、知人からの紹介」、「急に忙しくなり、求人する時間すら取れない状況である」、「採用活動は行っていない」、「新聞折込み」、「若い人材は欲しいと思っているが現在の状況では雇用が難しい」、「面識のある他業者の従業員など、こちらの業種に興味があるような方にお声をかけている」、「縁故者」、「人材登録会社からの学生紹介」、「埼玉中小企業家同友会の共同求人委員会に参加をして学校とのパイプ作りをして採用に結びつけている」、「職業安定所」などがあつた。



複数選択可

Q3-3採用(新卒・中途)において、課題と思われること、悩んでいること

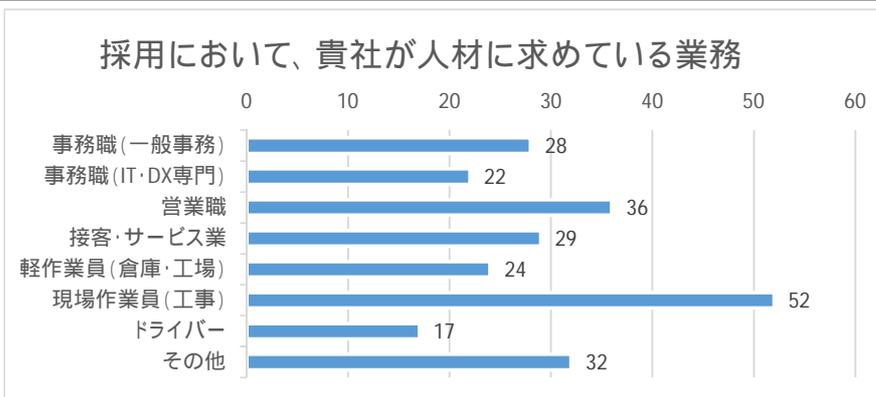
・課題や悩みとして、一番多く挙げられたのは、「求人に対する応募が少ない」で、次いで「優秀な人材がない」だった。
 ・一方で、「今は特に悩みはない」と58社が回答した。
 ・その他に寄せられた意見としては、「受入れ体制がない」、「外国人の採用方法」、「多種多様な業界、業種の中から弊行を選んで頂く為の最適なアプローチ方法」
 「夜勤があるため、敬遠される」、「若い人材は欲しいと思っているが現在の状況では雇用が難しい」、「諦めていますので悩みはない」、「紹介手数料が高い」、「面接だけではスキルがわからない」、「募集自体していないが、しいて言うなら新卒の育て方が昭和のバブル期から抜け出せない企業が多すぎるにより、若い世代が育つ前に離職している」等があった。



複数選択可

Q3-4採用(新卒・中途)において、貴社が人材に求めている業務

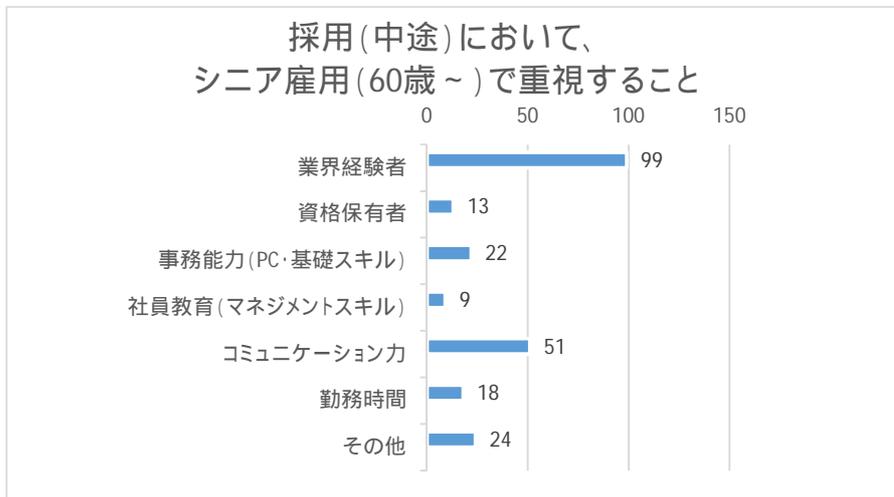
・「現場作業員(工事)」が一番多かった。
 ・次いで多かったのは「営業職」
 ・その他の内容は、「コンサルタント」、「生産管理」、「技術者」、「調理師」、「専門職」、「医療事務」、「柔道整復師」、「整体師」、「保育士」、「児童管理責任者」、「作業療法士」、「現場作業員(印刷)」、「警備員」、「撮影関連の制作スタッフ」、「医療技術職」、「看護師」、「自動車整備士」、「福祉資格者」、「製造工員」、「多能工」、「獣医師」、「動物看護師」、「ステンレス溶接できる方」、「採用活動は行っていない」、「特になし」であった。



複数選択可

Q3-5採用(中途)において、シニア雇用(60歳～)で重視すること

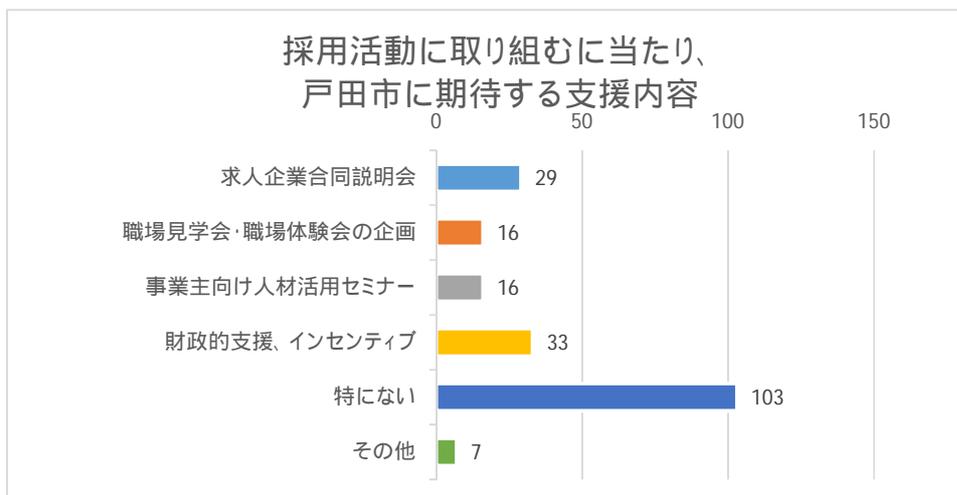
・「業界経験者」が一番多く、次いで「コミュニケーション力」だった。
 ・資格保有者の内容としては、「ビルクリーニング技能士」、「資格名技術士」、「宅地建物取引士」、「不動産経営管理士」、「保育士」、「児童管理責任者」、「作業療法士」、「建設関係全般」、「中型以上の運転免許」、「各種警備資格」、「臨床検査技師」、「公認会計士」、「準中型以上の車の免許証」、「運行管理」、「福祉資格者」、「第1種電気工事士」、「1級電気施工管理技士」、「大型免許」、「フォークリフト」、「天井クレーン」などがあつた。



複数選択可

Q3-6採用活動に取り組むに当たり、戸田市に期待する支援内容

・「特にない」が一番多かった。
 ・次いで多かったのは「財政的支援、インセンティブ」
 ・その他ご意見では、「弊行採用活動の告知等」、「外国人採用補助」、「介護業界の採用窓口を設けて欲しい」、「人材を求めている」、「求人事業説明会」、「職場見学会などその時いい顔・良い職場環境に見せている企業も多いため実際に働いている社員(平社員や入社2年目の新卒など)からの生の声を直接聞けるようにするべき」等があつた。

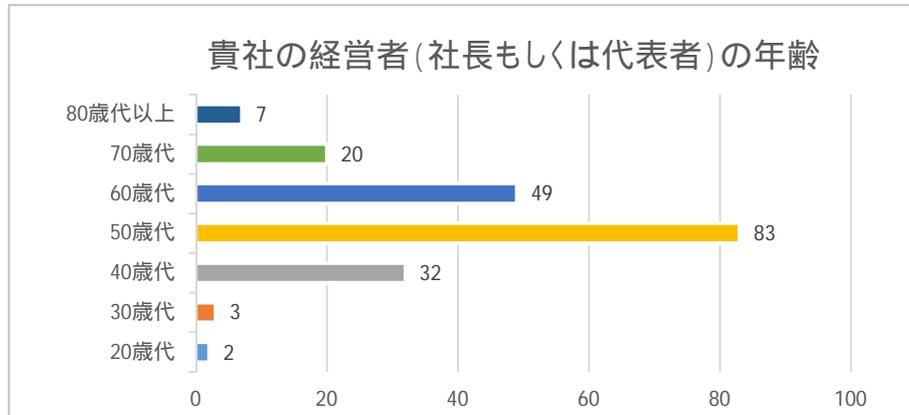


複数選択可

4. 事業承継について

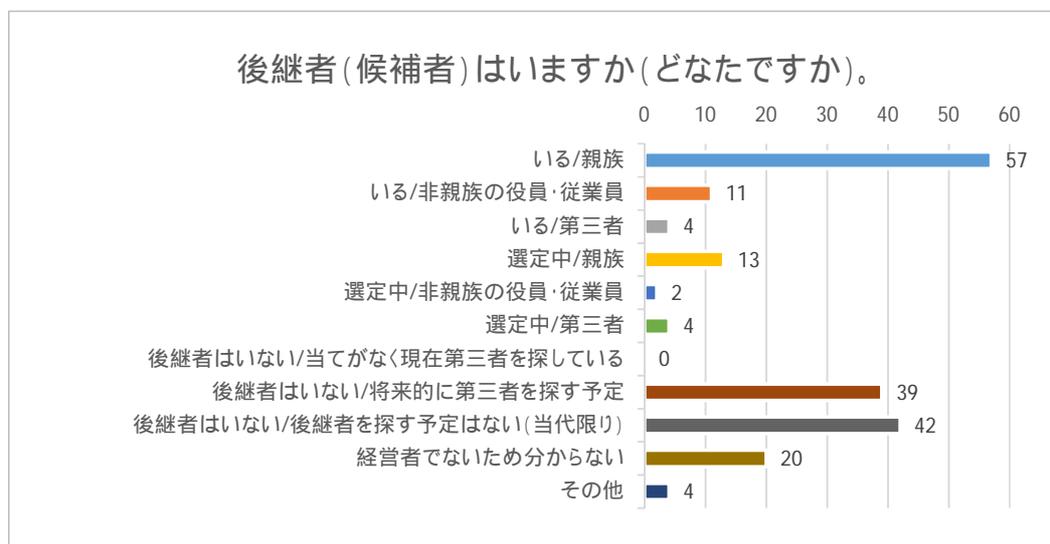
Q4-1 貴社の経営者(社長もしくは代表者)の年齢

・貴社の経営者(社長もしくは代表者)の年齢として、一番多く挙げられたのは「50歳代」であった。
・次いで多かったのは「60歳代」、「40歳代」であった。



Q4-2 後継者(候補者)はいますか(どなたですか)。

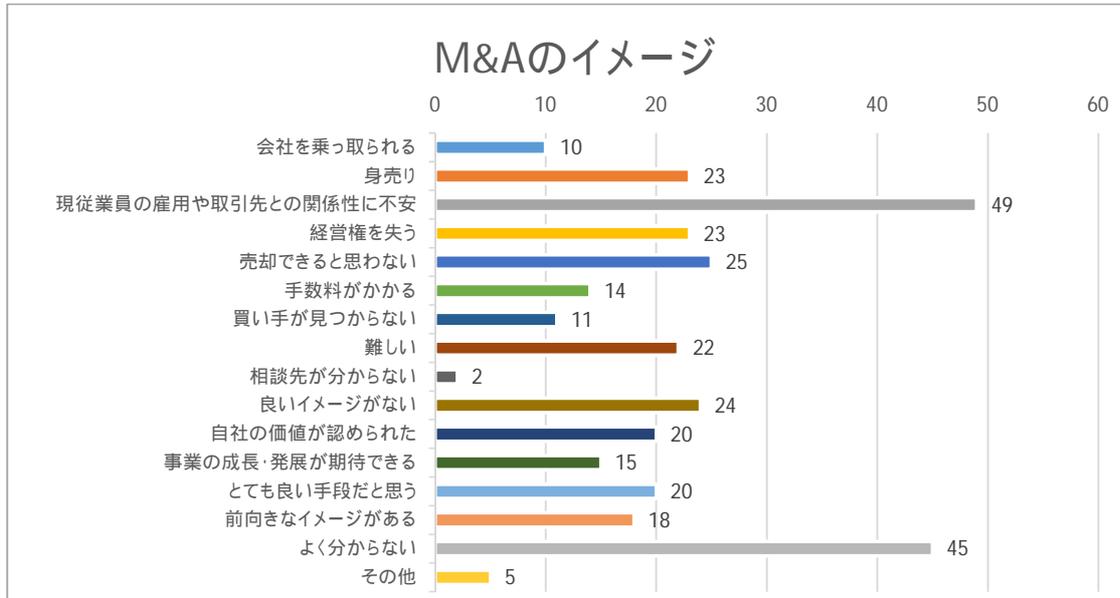
・「候補者がいる/親族」と回答したのが57社で一番多かった
・一方で、「後継者はいない/後継者を探す予定はない(当代限り)」、「後継者はいない/当てがなく現在第三者を探している」が二番目、三番目に多かった。
その他の内容としては、「特殊技術が必要な為、自分で納得のできる、協力業者に全てを譲り、自分は顧問として協力業者に入る」、「現在の代表者は、2023年10月に就任」、「親会社の決定による」等があった。



選定中…候補者含め概ね決まっている

Q4-3 第三者に事業承継 (M&A) となった場合に、どのようなイメージを持ちますか

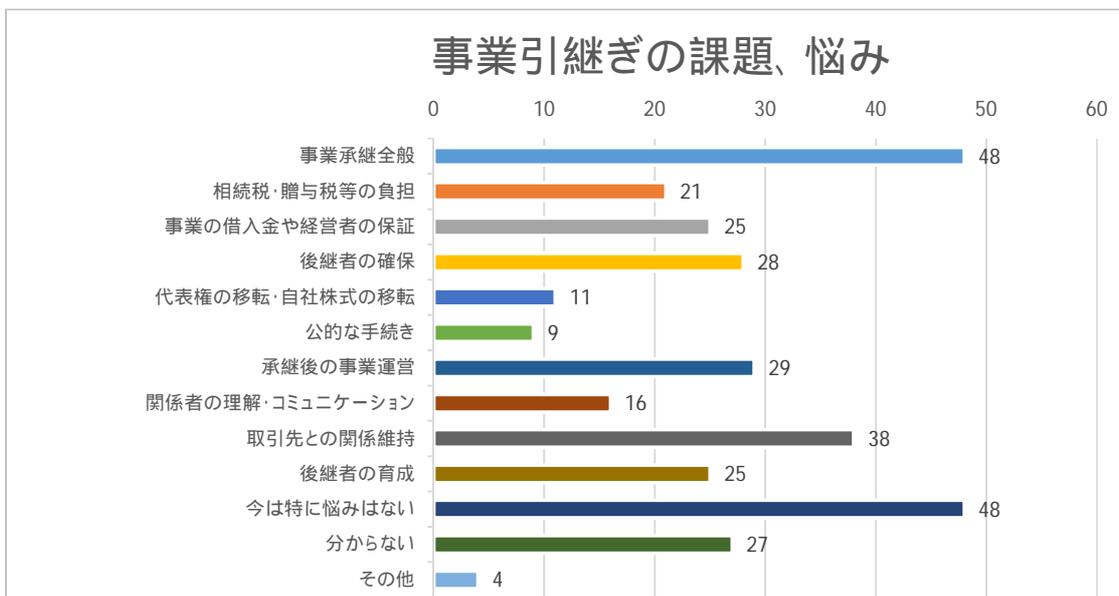
「現従業員の雇用や取引先との関係性に不安」と回答したのが一番多かった。次いで「よく分からない」であった。その他のM&Aイメージは、「運営できると思わない」、「現時点で考えていない」、「前向きなイメージもあるが、そんなに都合の良い話があるのかという後ろ向きなイメージもあり、なかなか難しい」、「M&Aをする場合だいたい総売り上げの6~8倍の価格での売却となるため当社の場合買い手がつかない。よってM&Aする気もない」であった。



複数選択可

Q4-4 事業の引継ぎで課題と思われること、悩んでいることを選択してください。

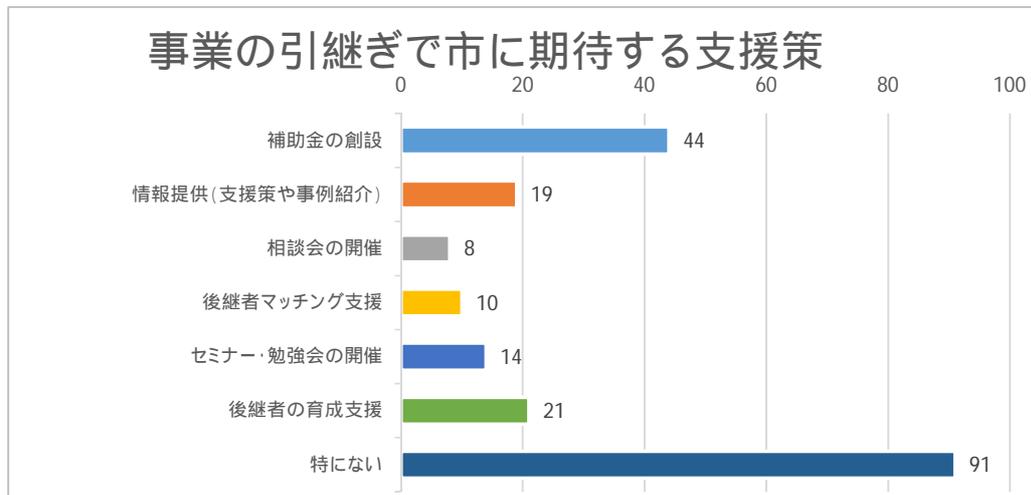
「事業承継全般」、「今は特に悩みはない」と回答したのが48社と一番多かった。次いで「取引先との関係維持」、「承継後の事業運営」であった。



複数選択可

Q4-5 事業の引継ぎで市に期待する支援策を選択してください。

特にないと回答したのが一番多かった。
次いで「補助金の創設」、「後継者の育成支援」、「情報提供(支援策や事例紹介)」であった。



複数選択可

戸田市景気動向に関するアンケート調査結果(2024年1月)
令和6年3月4日発行 戸田市 環境経済部 経済戦略室

実施・編集・発行 : 戸田市 環境経済部 経済戦略室
048-441-1800(内線374)